

# 一押し団体はこれだ!!!

 鳥取県に取り入れたい! プロジェクト

## ファインモータースクール 卒業生燃費追跡調査 (SNT) プロジェクト 日本初、教習所卒業生のエコドライブ 定着率と燃費向上状況を調査 (埼玉県)

みなさんは日本の二酸化炭素排出の内訳のうち、運輸部門の約半分を占めるのが自家用車だということをご存じでしょうか。自家用車からの二酸化炭素の排出を抑えることは、一市民ができる温暖化対策としてはとても効果的なものです。そしてそれを手助けしてくれるのがエコドライブなのです。

ファインモータースクールが管理する自動車学校3校では、普通自動車免許を取得する際に全員がエコドライブを身に付けられるようカリキュラムを組んでいます。

今回は、そのエコドライブが卒業後も継続して身についたままであるかを調査しました。結果としてはそのままエコドライブを続けている卒業生がほとんどであり、持続するものだという仮説を強めるものとなりました。

自家用車が必要不可欠な鳥取だからこそ、このような取組を採用してみたいと強く思います。



鳥取環境大学1年「地球環境を考える会」  
原口 知弥 (写真右)

今回多くの発表を聞いて感じたのは、低炭素社会の構築には、たくさんの方のつながりがないと実現しないということです。共通の意思を持ち取り組むことで、はじめて効果が出ます。その結果、人々や地域が元気になり、全国に誇れる宝物になったのだと思います。

ファイナリスト団体の中から、  
私たちが気になった団体の  
活動をピックアップして  
紹介します!



 地域エネルギー部門 金賞

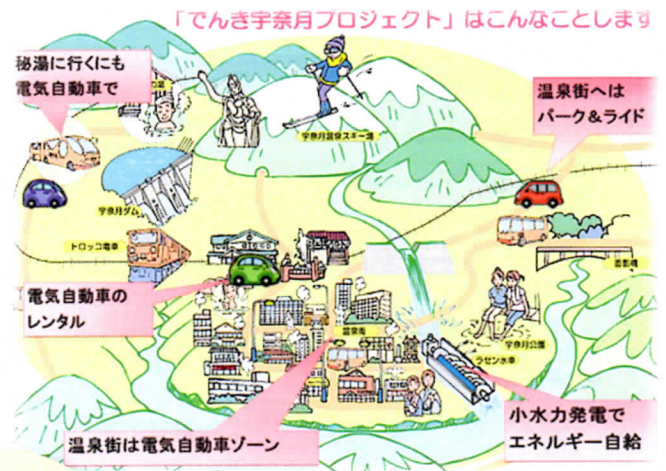
## でんき宇奈月プロジェクト 宇奈月温泉におけるエネルギーの 地産地消による地域活性化プロジェクト(富山県)

地域エネルギー部門で環境大臣賞に輝いた宇奈月温泉ですが、観光客の減少に悩んでいました。そこで電源開発で発展してきた歴史をもとに、先進的なエコ温泉リゾートとして観光客誘致を促進するとともに、エネルギーの地産地消をもとに、自立した地域づくりを推進しようと計画されたのが今回のプロジェクトでした。

宇奈月温泉では一定量の生活用水が温泉街から滝のように落ちていることを利用し、小水力発電を行いました。また発電した電気は、温泉街を走るEVバス(Electric Vehicle 電気自動車のこと)や電気自転車などに使われています。このバスは無料で運行されており、自由に乗降することができます。さらに時速19kmという低速での運行なので、風情豊かな温泉街の街並みを心いっぱい楽しめます。

地熱を利用した新たな取組も進行しており、今後注目すべき温泉街になることは間違いありません。

エネルギーの地産地消を活用した温泉街、みんなで行ってみたいけ! (富山弁)



鳥取環境大学2年「地球環境を考える会」  
部長 寺本 有希

どのプロジェクトも独創的かつ先進的で、自分たちの活動のいい刺激となりました。

特に、富山県出身の私としては、地元の活躍を目のあたりにできたことで私自身のエネルギーとなりました。鳥取県も県民一丸となり、鳥取らしさを活かし低炭素社会に向かって行動に移すときだと思います。私たちのサークルも、鳥取という地元を活かすエネルギーとなれるよう今後も頑張ろうと思った2日間でした。